

令和2年度第1回八千代市総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和2年9月30日(水)
開 会 午前 9時57分
閉 会 午前10時32分
- 2 場 所 八千代市役所 旧館4階 第1委員会室
- 3 出席者 【構成員】 市長 服部 友則
(敬称略) 教育委員会教育長 小林 伸夫
教育委員会委員 石井 伸一
教育委員会委員 須堯 福美
教育委員会委員 佐藤 志津
教育委員会委員 川嶋 一永
- 【説明員】 教育次長 嶺岸 秀一
教育次長 大澤 利和
教育委員会参事 蕨 茂美
教育総務課長 島津 俊明
学務課長 長島 秀一
指導課長 高木 雅晴
保健体育課長 加藤 英昭
教育センター所長 村上 恒和
文化・スポーツ課長 春田 泰宏
- 【事務局】 企画部長 小川 勝
企画部次長 加藤 博士
企画経営課主幹 原田 泰雄
企画経営課主任主事 諸坂 純平

4 開 会

○服部市長 ただいまから、令和2年度第1回八千代市総合教育会議を開会いたします。

会議の進行につきましては、八千代市総合教育会議の運営に関する要領第3条第1項の規定により、会議の主宰者であります私が務めさせていただきます。

よろしく願いいたします。

会議の開会に当たりまして、一言、御挨拶を申し上げます。

5 市長挨拶

○服部市長 委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、令和2年度第1回八千代市総合教育会議に御出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より本市教育行政に御尽力をいただいておりますこと、厚く御礼を申し上げます。

さて、未だ収束の見せない新型コロナウイルス感染症でございますが、その影響は市民の皆様の社会生活に様々な変化を与えており、特に子どもたちの学校教育や市民の皆様の文化や芸術、スポーツなどの様々な活動にも多大なる影響がでてきていることと思います。

これまで国、県、市がそれぞれにおいて、対策を講じておりますけれども、これらの対策と併せて、ポストコロナ時代の「新しい生活様式」への対応も非常に重要な取組みとなってきております。

本日の議題の中で、来年度の重点施策として「ICTを活用した学校教育」について取り上げておりますが、ICTの活用につきましては、学校教育における「新しい生活様式」への対応として、より一層、重要度が増していくものと考えております。

この件につきましては、議題の中で御説明をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

本日の議題ですが、「議題1 令和3年度重点的に講ずべき施策等について」、「議題2 八千代市教育大綱の改訂について」、「議題3 その他」の3件となっております。

議題につきましては、後程、事務局より説明がございますので、御意見を賜り、有意義な会議とさせていただきたいと思っております。

以上、簡単ではございますが、開会に当たっての御挨拶とさせていただきます。

本日は、よろしくお願いいたします。

6 議事録署名人の指定

○服部市長 次に、議事録署名人の指定をいたします。私のほか、須堯委員にお願いいたします。

○須堯委員 はい。

○服部市長 それでは、議事に入らせていただきます。

7 議 題

○服部市長 議題1「令和3年度重点的に講ずべき施策等について」。

本日は、来年度に力を入れて取り組むべき、「ICTを活用した学校教育」、「阿蘇・米本地域小中学校の学校適正配置」、「学校施設の長寿命化」の3つの事業を取り上げたいと思っております。

初めに、この3つの事業の現状や今後の予定等について説明をお願いいたします。

○村上教育センター所長 はい。

○服部市長 教育センター所長。

○村上教育センター所長 それでは、「ICTを活用した学校教育」について、令和3年度の重点事項について説明いたします。

現在、各学校では、一昨年度の大規模なICT機器の更新により、児童生徒が教室はもちろん校舎内外でタブレットPCを使って学習したり、各教室に整備された電子黒板機能付き大型提示装置や実物投影機を教員がわかりやすい授業の実現のために日常的に活用したりするなど、更新前と比較して学校での授業は大きく変わりました。

今後は、文部科学省が示したGIGAスクール構想に基づいて、現在約5,000台、児童生徒約3人に1台整備されているタブレットPCを

約12,000台を早期に追加整備し、児童生徒1人1台のタブレットPCを実現する予定でございます。

令和3年度は、1人1台端末の運用が開始されるため、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境の早期実現」というGIGAスクール構想の理念に基づき、各学校での円滑な導入と充実した利活用推進を重点として取り組んでまいります。以上です。

○服部市長 ありがとうございます。

次に、「阿蘇・米本地域小中学校の学校適正配置」について説明をお願いいたします。

○長島学務課長 はい。

○服部市長 学務課長。

○長島学務課長 私からは、阿蘇・米本地域小中学校の学校適正配置の進捗状況と今後の予定について御報告いたします。

令和4年4月の阿蘇・米本地域義務教育学校開校に向け、去る7月31日に設立準備委員会を立ち上げ、第1回会議を開催いたしました。

委員には、保護者や地域の代表、学校関係者等から46名を委嘱し、互選により委員長には、自治会長や、社会福祉協議会支会長を歴任された綿貫哲夫氏が選出されました。

また、委員会には「学校経営部会」、「教育環境整備部会」、「通学安全部会」、「保護者地域連携部会」の4つの部会を置き、それぞれ、義務教育学校の教育課程、校名、校章や制服、通学支援バスを含めた通学方法、PTA組織や跡地活用等について保護者や地域の皆様の御意見を伺いながら、開校に向け準備を進めてまいります。

9月11日に保護者地域連携部会は第3回の、ほかの3部会は第2回の準備委員会を開催し、今後、今年度中に6回、次年度9回の会議を開催していく予定です。

なお、要点をまとめた議事録や、今後の開催予定を教育委員会学務課ホームページ、設立準備委員会だよりの回覧等を通じて、随時、保護者や地域に発信してまいります。

説明は以上です。

○服部市長 ありがとうございます。

次に、「学校施設の長寿命化」について説明をお願いいたします。

○島津教育総務課長 はい。

○服部市長 教育総務課長。

○島津教育総務課長 以前から課題となっております学校施設の長寿命化についてでございますが、現在、財務部資産管理課において策定を進めております「八千代市公共施設等個別施設計画」の中で、建物の躯体の目標使用年数、改修・更新サイクル、整備レベルの見直しを行い、老朽化状況等から改修等の優先順位を検討しているところでございます。

学校施設で発生している雨漏りや外壁の劣化等につきましては、今後策定予定の個別施設計画に基づき、計画的に改修等を実施することを考えております。

また、昨年度のこの会議でもありました学校トイレの乾式化・洋式化につきましても、「学校トイレ整備改修計画（第1次）」に基づき、児童生徒が普段使用する普通教室周辺のトイレを各階最低1箇所乾式化・洋式化するための整備を進めているところでありますが、校舎内で未整備のトイレや避難所となる学校体育館のトイレ整備などについて、個別施設計画と整合を図りつつ、整備を進めてまいりたいと考えております。

○服部市長 3件についての説明がございましたが、委員の皆様から御質問・御意見等がありましたら、お願いいたします。

○須堯委員 はい。

○服部市長 須堯委員。

○須堯委員 ICTを活用した学校教育について、家庭環境による子どもの情報格差が課題になっていると聞いています。そうした意味でも、学校に1人1台のパソコンが整備され、どの子どもも日々の授業の中で日常的にパソコンを使えるようになることは、とても意義のあることだと思います。

全ての子どもたちが義務教育の中で、使い方はもちろん、情報モラルを含めて等しく学ぶことは、家庭でのオンライン学習の充実にもつながると思います。

ぜひ、今後もICTの環境整備を市として積極的に進めていってほしいと思います。

○服部市長 他に御質問・御意見等がありましたら、お願いいたします。

○石井委員 私からもICTの部分で、八千代市も国の方針に基づいて、児童生徒1人1台のタブレットの整備を、計画を前倒しして行うということで、大変期待しています。

社会や家庭にスマートフォンやタブレットが広く普及する中で、日本の学校の整備は遅れていると言われており、コロナ禍の中でそれが如実に現れたと思います。

八千代市は県内でも先進的な整備がされていて、先生方の指導力も高いと伺っています。ぜひ、これからも、八千代の子どもたちの学力向上と先生方の負担軽減を目指して、整備に一層力を入れてもらいたいと思います。

コロナ禍の中でICTの活用やGIGAスクール構想がすごいスピードで進められており、良いことばかり言われておりますが、同じくらい負の部分といたしますか、学ばなければならない部分や子どもたちが注意しなければならない部分があると思います。

良い部分だけでなく、悪い部分にも目を向けながら、子どもたちの教育に協力していただければと思います。

○服部市長 あと何かございますか。

○須堯委員 はい。

○服部市長 須堯委員。

○須堯委員 阿蘇・米本地域小中学校の学校適正配置について申し上げます。

八千代市初の義務教育学校の開校に向けて、設立準備委員会が動き出したことに感銘を覚えています。市長の御決断に深く感謝申し上げます。

今回の義務教育学校は、報道にもございましたように、八千代市初であるとともに、千葉県で4校目になると聞いておりますが、県内他校の状況をみると、開校に向け、かなり施設などの充実を図っているようでございます。

前回の総合教育会議でも申し上げましたが、限られた予算の中で増築等の大規模な整備ができないことは承知しておりますが、八千代市初の義務教育学校です。改めて、予算を有効に活用し、地域に誇れる学校となるよう、ぜ

ひ、八千代市として全面的な支援をお願いいたします。

一目瞭然という言葉がございしますが、外装が大きなウエイトを持つと思います。中に入って見学させていただきたいという方は専門家ではいらっしゃるかもしれませんが、遠目に見て「今度の学校はこういう風になるのか」といったところは、外装で一目瞭然で、非常に大事なことだと思っております。

子どもたちの学ぶ環境が一番ではございますが、外装のこともよろしくをお願いいたします。

○服部市長 あと何かございますか。

○佐藤委員 はい。

○服部市長 佐藤委員。

○佐藤委員 はい。前回の総合教育会議で、市長から「通学支援バスの無償化」について前向きな御意見をいただきました。

安全な通学方法の確保については、保護者や、地域の関心が非常に高いことだと思っておりますので、市長の御発言に安心した保護者も多いことと思っております。ありがとうございます。

このことに加えて、統合に伴う保護者の不安として、学童への通所の問題があると思います。学童については、児童の安全面から、市の方針として、敷地内に設置する方向で施策が進められていると聞いておりますが、今回、統合場所となる阿蘇中の敷地内に学童が移設された場合、特に、これまで団地内を徒歩で通所できた米本団地の保護者は、短縮日課に伴う早帰りや、土曜日、長期休業中などバスが使えないときの通所に不安を抱いていると思われまして、そういった意見も聞こえてきております。

様々な状況を鑑み、統合への賛意を示していただいた米本地区の保護者の皆様の不安を払拭し、安心して学童への通所ができるように、ぜひ、御支援いただきたいと思いますと思っております。

○服部市長 今の御意見ですが、直接、教育委員会が担当ではございません。市長部局と教育委員会で相談しながらやる場所ですが、この会議でそういう話が出たことを、担当の方には申し伝えたいと思っておりますのでよろしくをお願いいたします。

今のことに関して、担当ではないですが、教育委員会として考えているこ

とがあったら、お願いしたいと思います。

○**嶺岸教育次長** はい。

○**服部市長** 嶺岸次長。

○**嶺岸教育次長** ただいま市長からありましたとおり、学童につきましては、子ども部が担当となります。

しかしながら、バス等の支援が必要だということにつきましては、通学支援バスに関しては、教育委員会が担当しておりますので、この辺りについては子ども部と適切に連携を図り、より有効な形の中でコストも下げていく。そういった部分について、保護者や地域の声を聞きながら、適切に進めていきたいと考えております。

○**服部市長** ほかに御意見、御質問ございませんでしょうか。

○**石井委員** はい。

○**服部市長** 石井委員。

○**石井委員** 長寿命化の関係で、学校に行きますと、外壁がだいぶ傷んでいたりと、校舎内の廊下の床の塩ビシートが破けていたり、階段の滑り止めも外れていたりといった光景を目にします。人口急増した時期に建設した学校は40年以上経ち、痛みが目立つようになりました。

このような計画が立てられて、修繕していくことは重要なことだと思います。予算の関係で、一度に全部の学校を行うことは難しいとは思いますが、子どもたちが安全・安心に登校できるように、計画どおりに修繕を進めていただけるよう要望します。

○**服部市長** 他に御意見、御質問ございませんでしょうか。

それでは最後に私の方から質問ですが、ICT教育について、時代に合わせて、子どもたちの学習効果を高めるためにICT教育を導入するということは非常に良いことだと思います。

学校教育の中で、ICTの落とし穴といいますか、「開いてはいけないものを開いてしまうと大変だよ」とか、そういう危険性もある程度は授業の一環として教えていくようになるのでしょうか。

もう3人に1台で使っていますので、やっているのかもしれませんが、確認をしておきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○村上教育センター所長 はい。

○服部市長 教育センター所長。

○村上教育センター所長 すでに、市内では情報モラル教育ということで、各学校で年間の指導計画を作成しております、指導計画に基づいて、道徳はもちろんですが、各教科、全領域で情報モラル教育を行っております。

しかしながら、1人1台になり、家庭でのオンライン学習を見据えた、新たな情報モラル教育というのが必要になってくると思いますので、その部分も含めて学校教育の中で充実して参りたいと思います。

○服部市長 今でも行われているということですが、ぜひ、よろしく願いしたいと思います。

今まで3人に1台で使っている時には、個人的な興味があっても、気持ちを押さえて「やらない」といったこともあるけれども、1人1台になると、「ちょっとやってしまおうかな」などといったこともあると思います。

I C T関係以外でも、様々な犯罪がどんどん進化しているので、対策してもその上を行こうとする犯罪者が世の中にはいて、良い人ばかりではありませんので、悪い人がいるということも、ぜひ子どもたちに教えていただきたいと思います。

それらも含めて、何かございませんか。

○石井委員 はい。

○服部市長 石井委員。

○石井委員 今、市長からI C Tのお話がありましたけれども、要望というか教育委員会へのお願いになってしまいますが、タブレットを使って授業をしている様子を映像で記録していただくことはできないでしょうか。

それで、子どもたちがタブレットを使って授業をやってみて、どういうふうに考えているのか、どう思うのか。良い意見ばかりではなく、悪い意見中にはあるかもしれないけれども、それで何か拾えたらうれしいです。

次回の総合教育会議でもいいですし、ほかの機会でも何かあったら、私たちと市長も交えて、その映像が見られる機会があれば良いと思います。

機会があった時をお願いしたいと思います。

○服部市長 確かに、学校の外や運動場で遊んでいる子どもの姿は見られ

たりするのですが、教室の内で勉強している姿というのは、なかなか僕らは見る機会がないので、「子どもたちが生き生きと嬉々として勉強していますよ」といったようなところを内外に発信することも大事なので、ここで確約は結構ですが、教育委員会の方で、ぜひ、石井委員の意図を組んで、検討していただければと思います。

ほかにございませんか。よろしいでしょうか。

次に、議題2「八千代市教育大綱の改訂について」でございます。

事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 はい。

○服部市長 お願いします。

○事務局 私から、教育大綱の改訂につきまして、御説明いたします。

教育大綱でございますが、皆様、御承知のとおり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3により、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針として策定するものです。

本市の教育大綱は、総合計画の内容が「総合的な施策」に該当するものとして、八千代市第4次総合計画後期基本計画の教育に係る関連する部分を教育大綱としているところでございます。

昨年度の会議でもお話しさせていただきましたとおり、八千代市第4次総合計画後期基本計画の終期が令和2年度となっておりますことから、令和3年度以降の教育大綱につきましては、今年度、検討する必要がございます。

参考資料5を御覧ください。

教育大綱の基本的な考え方といたしましては、総合計画の基本計画は施策・手段を体系的に定めたもので、市政の基本的な計画となることから、大綱として位置づけることができるという考え方を引き継ぎ、八千代市第5次総合計画の前期基本計画の教育に関連する部分を教育大綱としてまいりたいと考えております。

これにつきましては、文部科学省の通知において、「教育振興基本計画やその他計画の目標や施策の根本となる方針の部分が大綱に該当すると位置付けることができる」と考えられることから、地方公共団体の長が、総合教育

会議において教育委員会と協議・調整し、当該計画をもって大綱に代えることと判断した場合には、別途、大綱を策定する必要はないこと」とされておりますことから、次回以降の総合教育会議において、第5次総合計画前期基本計画の素案等を皆様にお示ししつつ、協議・調整してまいりたいと考えております。

八千代市第5次総合計画策定に係る現在の進捗状況でございますが、「八千代市第5次基本構想（素案）」を作成し、八千代市総合計画審議会への諮問、パブリックコメントを実施したところでございます。

参考資料2を御覧ください。

こちらが、ただいま申し上げました「八千代市第5次基本構想（素案）」でございます。

3ページを御覧ください。「第3章 将来都市像の実現に向けた5つの柱」ですが、2つ目の柱「豊かな心と文化を育むまちづくり」が主に教育に関連する部分となっております。

次に5ページを御覧ください。

こちらが施策の大綱となっておりますが、現行の計画と同じく、「教育」、「生涯学習」、「文化」、「スポーツ」という項目別で整理しております。

現在、パブリックコメントの結果のとりまとめ、八千代市総合計画審議会への諮問を行っており、その結果により修正となる可能性がございますが、現状はこのような内容となっております。

なお、前期基本計画の策定に関しましては、事業計画案の作成等を各部署に依頼しているところです。

以上、教育大綱の改訂についての説明となります。よろしく願いいたします。

○服部市長 ありがとうございます。

途中経過ということですが、今だからこそ言っておきたいことなど、御意見、御質問ございましたらお願いいたします。

【意見・質疑なし】

○服部市長 よろしいでしょうか。それでは、第5次総合計画の策定の進捗

に合わせて、教育大綱の改訂も遺漏のないように準備を進めてください。

次に、議題3「その他」についてですが、本日の議題以外で委員の皆さんが関心を持っておられることや大事だと思っていることなどがありましたら、お聞かせいただきたいと思います。

○佐藤委員 はい。

○服部市長 佐藤委員。

○佐藤委員 これは、お願いになりますが、今年は8月に入ってから9月上旬まで大変暑い日が続いておりまして、ニュースでも「熱中症アラート」という言葉を多く耳にするようになりました。

各学校では「熱中症モニター」を使って「暑さ指数」を測定し、その指数に応じて体育の授業や部活動などの活動を制限したり、新人戦などにおいても、試合時間を日中の暑い時間を避けて設定した種目もあると聞いております。

来年度以降も早ければ7月以降から暑さ対策等が必要になってくると思いますが、中学校における夏の大会や新人戦の開催時期や試合時間、毎年9月・10月に行われる総合体育祭の練習につきましても、今後影響が出てくるのが予想されますので、児童生徒の安全に配慮した対応をお願いしたいと思います。

○服部市長 今の御意見については、お汲み取りいただければと思います。

他に御意見等がございましたら、せっかくの機会ですので、御遠慮なくお願いします。

○川嶋委員 はい。

○服部市長 川嶋委員。

○川嶋委員 私から2点ほどお願いがあります。社会教育施設についてですが、1点目は、おかげさまで昨年10月に大和田図書館と大和田公民館の複合施設が完成し、利用者からも喜んで利用していると聞いております。

ただ、旧大和田図書館は、旧大和田中学校の施設で、私も通った学校なのですが、もう60年近く経っておりまして、耐震化が済んでいない状況で、近隣も小さい道路を隔てて、裏がすぐ民家になっていますので、地震や大型台風が来ると迷惑をかける可能性があります。

財政の厳しい中ではありますが、なるべく早めに解体などの対応をとっていただきたいと思います。市全体のお考えとして進めていただければと思います。

もうひとつは、八千代台図書館ですが、聞いたところ、3階建ての3階部分が耐震化されておらず、利用されていない状況のようです。せっかく施設がありますので、市全体の施設管理の問題の中で調整をとってもらいたいと思いますのでよろしくお願いします。

○服部市長 川嶋委員の意見ですが、教育委員会の意向と市長部局の資産管理課との調整も必要かと思いますが、大事な案件かと思いますが、この会議でそのような意見が出たことを踏まえて、教育委員会でも資産管理課との調整にあたっていただければと思います。私もそういった意見があったということで認識させていただきます。

ほかにありますか。

先ほどの教育大綱もそうですが、教育というのは、普遍的で変えてはいけないものだという基本があると同時に、時代とともにICT教育も含めてですが、時代とともに変わっていくという部分はありますので、ぜひ、子どもファーストということで、八千代ではそれを貫いて、子どもたちのための教育だということを念頭において、教育大綱の改訂、あるいはいろいろな政策に生かしていきたいと思います。

御意見いただきましてありがとうございます。

事務局から何かありますか。

○事務局 はい。

○服部市長 事務局。

○事務局 次回の会議についてでございますが、第5次総合計画前期基本計画策定の進捗状況に合わせて開催時期を決定したいと考えております。

日程等につきましては、改めて御連絡させていただきますので、よろしくお願いたします。以上です。

○服部市長 ただいまの説明について質問等はございますか。

【質疑なし】

8 閉 会

○服部市長 それでは、以上をもちまして、令和2年度第1回八千代市総合教育会議を終了いたします。

本日は、ありがとうございました。